



## ロータリーは 分かちあいの心

2007～2008年度  
国際ロータリーのテーマ  
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

会長／関野政人 幹事／山本讓二

DISTRICT 2510 JAPAN

# 留萌ロータリークラブ 会報

2007▶2008 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

みんなロータリーが好きだから  
出会いを創造し活性しよう

## プログラム

- 本日  
「会員研修・親睦夜間例会」  
会員研修・親睦活動委員会
- 次週予定  
会員卓話「雑誌月間にちなんで」  
会員研修委員長 澤田 茂君

会員誕生日  
4月21日 武井 哲

結婚記念日  
4月18日 福嶋 重男

No. 2323

第38回 4月16日



前  
例  
会

会員総数	46名
出免会員	3名
欠席会員	10名
出席率	76.74%

前  
々  
会

第35回 3月26日	
欠席会員	17名
メイクアップ	3名
修正出席率	68.87%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

## 会長報告

- 次年度地区協議会が札幌にて開催されました。テーマも発表され、クラブの活動方針も具体化に向けて進んでいます。その反面、本年度は事業計画もほとんど消化され、ホッと一息入れたいところですが、しかし終わりが肝心といえます。残すところあと2ヶ月ちょっと、気を引き締めて頑張りたいと思います。

頼についてのお願いがきております。

### 会報受領先

・赤平RC No.2304号～No.2307号

### ビジター

矢橋 潤一郎様(札幌東RC)

## 幹事報告

- 1) 芦別RCより創立50周年の案内がきております。
- 2) 赤平RCより4月の例会案内がきております。
- 3) 留萌市明るい選挙推進協議会委員の推薦依

## 委員会報告

### 社会奉仕委員会

毎年行なわれております春の交通安全旗の波運動が、4月10日午後4時30分より開催されます。場所は例年通り四十坊前です。多くの会員の参加をお願いします。

### 親睦活動委員会

行徳副委員長

次週4月16日は会員研修・親睦活動委員会合

同夜間例会です。会場は「いちばんかん」時間は午後6時30分点鐘となっております。今回は上品に格調高くをモットーとした例会にしようと思っております。場所時間を間違えないようにお願いします。

 **3分間情報** .....

会員研修委員会 河部副委員長  
ロータリーとインターネット -その7-  
E-クラブの現況 その1

2001年規定審議会でサイバー・クラブを設立するための定款を検討する提案01-226が276対128で採択されました。

その直後にR Iのテクノロジー・タスクフォース委員長から日本にサイバー・クラブを設立するように依頼がきましたが、私のロータリー理念とは合致しない組織なので断りました。顔も合わせず、言葉も交わさず、コンピューターのメールだけで友情が培うことができるのでしょうか。定期的に直接、顔と顔を合わせて言葉を交わすことによって真の親睦が保たれるのです。

当時、私はR J Wの委員長やテクノロジー・タスクフォースのコーディネーターをしていた関係上、途中からではありますが、E-クラブ・ワンの定款の制定のアドバイザーを依頼され、もっぱらメールによって定款制定の相談にのりました。

まず驚いたことは、E-クラブ・ワンにはかつてロータリーに在籍していた会員が一人いるだけで、残りの全員は非ロータリアンでした。ロータリーに関する知識はほとんどなく、2001年の規定審議会で定款が改正されたことを知っている人は一人もいなく、古い定款を基にして定款制定作業をしている始末でした。私は新定款を提供して、それを基本にしてE-クラブ・ワンの定款を作るように勧告しました。

最終的に決定した事項は次のようなものでした。

- ①既存クラブからの現ロータリアンの移籍は認めない。

②例会は30分以上の双方向型とする。

③他のサイバー・クラブ会員以外のメークアップは認めない。

④3ヶ月に12時間の社会奉仕活動を義務づける。

こういう条件付でE-クラブ・ワンはR I理事会の認可を受けました。

(「ロータリー源流」から)

 **ニコニコBOX** .....

- ・会報に写真載りました 関野会長
- ・地区協議会に出席して参りました 齋藤エレクト
- ・ちょっと良いことがありました 渡邊会員

前回	886,000円
今回	6,500円
累計	892,500円

 **プログラム** .....

「2008~2009年度地区協議会報告」

2008~2009年R Iテーマ

-Make Dreame Real 夢をかたちに-

〈第一分科会〉 齋藤会長エレクト

4月6日札幌コンベンションセンターにて開催された地区協議会に私を含め6名の会員で出席してまいりました。9時登録開始、9時30分点鐘にて始まり、ホストクラブ谷口二郎会長の歓迎の言葉、酒井ガバナーの挨拶、元R I理事の竹山良一PG挨拶、そして矢橋温郎ガバナーエレクトの挨拶がございました。地区研修リーダーの遠藤正之PGの講演があり、15分間の休憩後、規定審議会代表議員の伊藤長英PGより2007年4月22日~27日シカゴで開催されました規定審議会についてお話しがございました。提出された立法案337件(制定案167件、採択59件。決議案170件、採択38件。14件を理事会に付託)。採択された97件の立法案のうち84件は提案通り、13件は修正の上採択されたそうです。

昼食後各分科会に入り、私は第1分科会会長部門に出席してきました。リーダーは矢橋ガバナーエレクトで、進行を渡邊恭久ガバナーノミニが務めました。またアドバイザーは酒井ガバナーと塚原房樹PGでした。その中で決議・確認を要する案件として地区予算について北島次期財務委員長より説明がありました。またガバナー公式訪問ですが、留萌クラブは8月20日に予定され、16時会長幹事懇談会、17時クラブ協議会、18時クラブ例会訪問となりました。前年度までは3クラブ合同で公式訪問を受けておりましたが、各クラブ単位で行なうそうです。

また、現在のロータリーの現状という事で酒井ガバナーよりお話しがありませんでしたが、世界のクラブ数は32,912クラブ、会員数は1,210,648人(2007年12月31日現在)で、日本のクラブ数は2,317クラブ、97,773人の会員数(2008年1月31日現在)、また本地区は73クラブ、2,918人(内女性会員100人)2月29日現在で、会員増強の観点から見ると、2007年7月1日現在で2,861人(内女性会員96人)から2008年2月29日では2,918人(内女性会員100人)と57人(内女性会員4人)の増加が見られたとの事です。財団の寄付状況についても話され、年次寄付の目標額では2月29日現在で63.3%の達成率だそうです。もう1人のアドバイザーの塚原PGには、理想的なロータリークラブの条件という題で講演をいただき、その後、役割と任務についての質疑応答で終了いたしました。

## 〈幹事部門〉 遠藤次年度幹事

会長エレクトから発表がありました。出席者は6名で、会長部門(齋藤)、幹事部門(私)、クラブ奉仕部門(対馬)、職業奉仕部門(平間)、社会奉仕部門(佐藤寛)、国際奉仕部門(行徳)で参加してきました。

点鐘のあとは齋藤エレクトが話した通り、役員紹介からガバナー挨拶、ガバナーエレクトの講演、地区研修リーダーの講演がありました。その中の規定審議会の主な改正点ですが、一つはロータリー年度の各半期ごとに例会の50%に出席する事を義務付ける件。(以前は60%の出

席義務でした)二つ目は、人頭分担金を増額する件で、2008~09年度半年毎に24ドルとの事です。

昼1時より各分科会に分かれましたが、私は当然第2分科会幹事部門に出席してまいりました。アドバイザー・サブリーダーの紹介後、幹事部門に関する資料説明及び次年度の年間予定についてと、クラブ幹事の任務と役割について説明がありました。次期クラブ幹事の実務と注意点やアドバイスもありました。その他ではポリオ撲滅支援のため各クラブに今後毎年1000ドルを目標とする募金活動を実施するよう呼びかけられました。以上です。

## 〈クラブ奉仕部門〉 対馬副会長

第3分科会ではCLP(クラブリーダーシッププラン)と情報、退会防止についてがテーマでしたが、特にCLPを重点に多くの時間を割きました。今回ロータリークラブが時代の変化に対応する為の方策としてCLPの活用が説明されました。会員数の減少が今、各クラブの大きな問題であり、2510地区に於いても、5年間で30%以上の会員の減少したクラブが6~7クラブあるそうです。

CLPは会員減少という危機感から生まれたものであり、当初少人数のクラブ運営の方策として誤解されたようですが、そうではなく、あらゆる規模のクラブにとって有用な管理機構であるという考え方を説明されました。従来のクラブ運営のマンネリ化を打破し、クラブ活性化の対応策であるとの事です。CLPの考え方はロータリーの原点に帰り、対外的にも対内的にも魅力的なロータリーを目指し、より効果的なクラブ管理の枠組を提案することによりクラブを強化し、ロータリークラブの継続性を確保しようという試みであります。この考え方については、各クラブで判断や評価の分かれるところかもしれません。しかしクラブが現状のままでは衰退することも事実であり、改革する時期であろうと感じました。

次に情報ですが、情報とは会員にロータリーの精神を伝え、よりロータリーを理解するため

の手段であります。大いに地区の委員長を活用して下さいとの事でした。

最後に退会防止ですが、まずは仲間意識を共有すること、会員相互の友情を深めるため、親睦が重要。奉仕より親睦が先との事です。そして楽しいクラブにするため、例会プログラムが大切であり、それぞれ工夫をこらして下さいとの事でした。

### 〈職業奉仕部門〉 平間次年度委員長

分科会では綱木次期職業奉仕委員長より基調報告があり、昨年2510地区会員の職業倫理に関する不祥事がクローズアップされ、今はいつの時代にもましてロータリーの「職業奉仕」を必要としている。その価値を取り戻し、ロータリアンの特質である職業奉仕の実践によって、自らの競争偏重傾向・貧欲・過度の競争・自己中心主義を見直し、会員自身に関する努力と外部に向けた努力、すなわち地域社会への強い影響を及ぼす時がきていると言っておりました。その為、職業奉仕の重要性を第一に、四つのテストをよく理解し、その周知・普及に努め、職業奉仕の実践を通して、今一度低下した職業倫理の高揚を呼びかけようとの事でした。

地区委員会の活動計画については、活動方針として2つあり、～世界の子供達に光をあてよう～ロータリーの公式標語に忠実に、ロータリーの根幹とも言うべき職業奉仕の理念に基づいて、ロータリアン各自の職場・地域社会における奉仕の実践を通し、「夢をかたちに」の指針に伝えるよう職業奉仕の普及及び実践に努めることと、もう一つは次期矢橋ガバナーの地区目標3項目に従い、各クラブで四つのテストの唱和がさらに積極的に行なわれるように、職業奉仕を通して「職業倫理をもう一度高める」ように見直すことを各クラブに奨励する、でした。

### 〈社会奉仕部門〉 佐藤(寛)次年度委員長

分科会での阪崎健治朗地区委員長(札幌西)がロータリーと社会奉仕について話されましたので掲載いたします。

ロータリー運動の原点は一人ひとりの言動に

責任を負うという事であり、地域と共にあるという志を持った仲間が集まってクラブを形成しているという事である。私たちの活動は、ロータリアン自ら持つ専門性を他者のために費やすいわば利他の思想である。社会に何らかのサービスをするということを「社会奉仕」と言うならば、それを今日的に言えば、強制されることなく自主的に行動し、他者のために喜んで働き、その喜びを共に味わうことが出来るボランティアマインドの醸成を意味している。ロータリアンの「社会奉仕」はまさにこの事である。1923年のセントルイス大会において「決議23-34」の中で、「ロータリーは奉仕団体ではない。奉仕の心を養い、奉仕を志す人々の集まり」であると規定した。

この精神的支柱をもって活動を続けていこうとしている。今までに各クラブはどのような地域活動をしてきたか、これからどのような活動を生み出すのかを熟知しているのは、ロータリアン一人ひとりの志にある。そしてクラブ自身にある。地域から待望され続ける事で地域が活力を得るならば、さらに工夫を凝らして自信をもって継続するべきである。しかし、もはや一定の使命を果たしたと地域の人たちが判断したものを、いつまでもロータリーの論理で進めるのは必ずしも効果的ではない。そのような事態になれば勇断をもって中止すべきである。その決断はクラブにある。クラブは常に新しい活動を創造し、会員自身が新鮮な思いになって取り組むことが重要だと言われました。

(次週につづく)